

19. 損傷,中毒およびその他の外因の影響 (T885)

文献

駒澤伸泰. 漢方薬・鍼灸による全身麻酔合併症の包括的予防法確立. 上原記念生命科学財団研究報告集 2018; 32: 1-4. 医中誌 Web ID: 2019287656

1. 目的

手術中の翳風穴への Silver Spike Point (SSP) による電気刺激が顔面浮腫の抑制に及ぼす影響を評価。

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

大阪医科大学、大阪、日本

4. 参加者

全身麻酔科にロボット支援下前立腺全摘除術を受ける成人患者 20 名。

5. 介入

Arm 1: 鍼灸群 10 名 (麻酔導入後に翳風に SSP 刺激を 20mA で加え、抜管前まで刺激)

Arm 2: コントロール群 10 名

6. 主な評価項目

導入直後と抜管直前に顔面浮腫の程度を、下顎角から顎先、目の高さでの頭周囲、上顎の高さでの頭周囲を計測。眼球の浮腫、視覚異常、覚醒後興奮の程度も調べた。

7. 主な結果

下顎から顎先までの長さは、術前では鍼灸群とコントロール群に有意差を認めなかったが、術後では両群で有意差を認めた (鍼灸群 13.3 ± 1.5 cm vs. コントロール群 14.9 ± 1.5 cm)。また、目の高さの上顎の高さでの頭周囲も術前では群間有意差はなかったが、術後には有意差を認めた (それぞれ鍼灸群 57.9 ± 3.0 vs. 62.9 ± 3.3 、 53.7 ± 3.7 vs. 60.1 ± 3.5)。覚醒興奮などは有意差がなかった (UMIN-CTR より)。

8. 結論・意義

SSP を用いた翳風穴刺激はロボット支援下前立腺全摘術後の顔面浮腫を軽減する可能性が示唆された。包括的合併症軽減には (漢方薬と) 同じ東洋医学の重要分野である鍼灸も有効活用できる可能性が高い。

9. 鍼灸医学的言及

翳風穴は耳鳴の経穴として知られているが、顔面浮腫にも効果があると言われている。

10. 論文中の安全性評価

記載なし

11. Abstractor のコメント

全身麻酔後合併症に対する東洋医学的アプローチの効果を検証した本著者の一連の RCT のひとつである。財団による研究助成の報告集であるため患者背景などの情報量が少ないが、病院内、特に手術中の患者に東洋医学的な介入を試行する機会が日本国内では少ないため、貴重なデータである。「顔面浮腫が起こると、美容的に患者の精神的な負荷がかかるだけでなく、気道浮腫による呼吸困難、眼球浮腫による視機能障害が起こる危険性がある」(UMIN-CTR より) とされるが、専門外の読者にわかるように、本成績が臨床的に意味のある差なのか、手術前中後の手間など含めどれくらい普及可能性があるのかも論じてほしかった。SSP による電気刺激を翳風穴に行った群を「鍼灸群」と呼ぶことに関しては異論があると思われるが、経絡経穴学あるいは臨床鍼灸学的な知識と技術の応用であることには違いない。SSP に関しては刺鍼や施灸が困難な環境下においても利用できるため、さらなる応用可能性の検証を期待したい。

12. Abstractor and date

山下 仁 2022.3.11 (要約およびコメント執筆にあたって次の UMIN-CTR の臨床登録情報を参照した: UMIN000025691)